



2023

第74号

2月21日

とめ 市議会だより



登米市子供議会2022に参加した子供議員

目次

特集 未来をしっかりと見つめ	2
12月定期議会	4
常任委員会報告	7
広報広聴委員会からのお知らせ	11
一般質問	12

特集

かがやけ未来世代 インタビュー

登米市子供議会2022

未来をしっかりと見つめ

とめ青年会議所 × 登米市議会

11月12日、中学生による『子供議会2022』が開催されました。一般質問に登壇した9人の子供議員にお話を伺いました。

子供議員紹介

- 齋藤くるみさん(佐沼中学校)
- 千葉遥斗さん(新田中学校)
- 源間咲玖さん(登米中学校)
- 千葉鈴さん(東和中学校)
- 阿部大馳さん(中田中学校)
- 菅野暖さん(豊里中学校)
- 浅田竜翔さん(米山中学校)
- 星成実さん(南方中学校)
- 菅原莉心さん(津山中学校)

子供議会開会前

これから本番だけど、どんなことを質問しますか。

菅原 私は登米市がもっと住みやすくなるよう、商業地の新設ができないか聞きます。

星 明治村でコスプレイベントをしたらどうか聞きます。市長さんにもコスプレに参加してPRしてもらいたいと思っています。

齋藤 私は整形外科の整備について聞きます。実は去年考えた質問でしたが、聞きそびれたので今回しっかりと聞きたいと思いました。

阿部 僕はふるさと納税についてです。先生と相談して決めたのですが、ふるさと納税全体の収支やどう活かしているか、あとはPRの仕方も質問したいです。

千葉遥 道路環境の改善を提案します。より良くするため案が出てくれれば良いかなあと思っています。

提案するようなことありますか。

千葉遥 伊豆沼周辺でクリーンキャンペーンが行われていますが、それが全体に広がるようにできればと思います。



子供議会終了後

質問、お疲れさまでした。ところで、子供議会に参加したきっかけは何ですか。

菅野 先輩に聞いて知っていました。先輩の姿を見て自分もと思いました。千葉鈴 生徒会の中で暇な人って！(笑い)

菅野さんは子育て環境について聞いていましたね。どうでしたか。

菅野 堂々とできてよかったと思います。些細な質問でもちゃんと答えてくれてうれしくなりました。

千葉鈴さんは職業について聞いてみてどうでしたか。

千葉鈴 私はキャリアセミナーをやっていること自体わからなかった。



浅田君は学校教育について聞きましたが、手ごたえはどうでしたか。

浅田 突っ込んで聞くところも思っていたところが若干ずれてしまいました。再々質問までしようとしていたんですけど、できませんでした。

源間君は登米市の医療について質問していたね。

源間 しつかり質問を考えたんですけど、無難な答えでした。登米市には「すぐ対応できる医療」と「できない医療」があるということも若干知っていたので、思い通りに近い答えでした。

自分の意見を出すことに興味を湧きましたか。

千葉鈴 それって怖くないですか。結構勇気がいるじゃないですか。

菅野 そうですね。でもチャレンジは必要かもしれません。2年生の皆さんはもう一回子供議会に挑戦できますね。もう一回チャンスがあったらやりますか。

菅野 いや、先輩に託します。

阿部 俺も託すかなあ。

浅田 やらないです。3年生になったら生徒会辞めちゃうので。

源間 多分託します。先生に同じことを言われると思いません。

千葉鈴 あんまり当てがえないというか・・・(笑い)。

菅原 今回、商業地の活性化



多くの人は託すとのことだったけど、齋藤さんは去年に引き続きの参加でしたね。再チャレンジしたのはどうしてですか。

齋藤 去年聞けなかった質問があり、先生にはもともとリベンジしたいと話をしていました。

菅野 莉心ちゃんがやるなら、やつぱは私も！

阿部 おー。

菅野 来年はふるさと納税について質問しましたが、納得がいけない答えだったのでもう一回挑戦します。

千葉鈴 来年はふるさと納税について質問したいです。

菅野 来年はふるさと納税について質問したいです。

菅野 来年はふるさと納税について質問したいです。

12月定期議会

消防通信指令事務を共同運用へ

宮城県東部消防通信指令事務協議会の設置を可決!!



12月定期議会は、12月2日から15日までの14日間の日程で開かれま
した。本定期議会では、6億4325万円を追加する4年度一般会計
補正予算や指定管理者の指定、消防通信指令事務の共同運用のための
協議会設置など、すべての議案を原案どおり可決しました。なお、一
般質問には、13人の議員が登壇し、市長にその考えを質しました。

設置までの経過

登米市消防本部は、石巻地
区広域行政事務組合消防本
部、登米市消防本部、気仙
沼・本吉地域広域行政事務組
合消防本部の3つの消防本部
で、現有する消防指令システ
ム機器や消防救急デジタル無
線機器の共同整備と運用を
検討してきた。

複雑多様化する消防需要に
広域的に対応し、消防サービ
スの向上と3消防本部がそれ
ぞれ単独で整備した場合に比
べ、整備費用の縮減、指令員
の減員や消防力の効率的な運
用等が期待できると判断。

指令の共同運用および応援
計画の見直しなどによる消防
力の強化を目的とし、事務協
議会の設置の承認を議会に求
めた。



質疑

問 大規模災害が発生した場
合の応援体制や、地元の消防
団との連携はうまくやれるの
か。

答 東日本大震災規模の場
合、119番回線をそれぞれ
の消防本部に設置し、対応す
ることで検討している。

問 協議会の日程に至るまで
の経過が見えない。

答 2年10月、県の協議会で
協議を開始。3年4月から
は、3消防本部での共同運用
を目指すということで協議を
進め、4年1月に消防長を委
員とする任意の団体を立ち上
げ、連携協力体制を協議して
きた。

問 この協議会への市議会の
関わり方はどうなるのか。

答 協議会に関する予算の審
議に際して説明し、市議会の
意見をいただく。

条例改正

交通安全指導員条例及び防犯
指導員条例を廃止する条例

地方公務員法の一部改正に
より、特別職非常勤職員の任
用要件が厳格化されたことに
伴い、身分の見直しを図るも
の。

質疑

問 特別職非常勤職員として
の身分継続は検討したのか。

答 法の要件を満たすには、
さらなる業務が発生する。指
導隊からも、負担が増加し担
い手確保が難しいとの話があ
り、身分の見直しを図ること
となった。

反対討論

相澤 吉悦 議員

両指導隊は市からの要請で
任務を行ってきている。身分
見直しは時期尚早で、時間を
かけて議論すべきである。

賛成討論

伊藤 栄 議員

様々な立場で本市に奉仕す
る方々が多い。要件の厳格化
により、身分が私人になっ
ても、お力添えを賜りたい。

◆12月定期議会審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

議員名	議決結果	採 決 結 果																													
		賛	成	反	対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
議案名	賛成	16	8	欠	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	議
議案第102号 登米市交通安全 指導員条例及び登 米市防犯指導員条 例を廃止する条例	賛成	16	8	欠	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	議

※採決結果欄 (〇)は賛成、(×)は反対、(欠)は欠席、(議)は議長。

補正予算

一般会計

一般会計では、歳入歳出予
算の総額に、それぞれ6億4
325万円を追加し、予算の
総額を歳入歳出それぞれ48
6億1600万円とした。主
な事業は次のとおり。

■私立保育所等光熱費価格 高騰対策重点支援事業

1061万円
原油価格・物価高騰による
光熱費の上昇など、幼児教育・
保育への影響を抑えるため、
私立保育所などに対し助成金
を交付し、経営の維持・安定
を図る。

■水田農業燃料等価格高騰 支援事業

1億4872万円
燃料価格などが高騰してい
ることから、経営に影響を受
けている市内農業者に対して
支援金を支給することによ
り、次期作に向けた経営継続
を支援し、生産意欲の向上を
図る。

減額補正

新型コロナウイルス感染症
の影響による各種事業の中止
などにより、観光・地域交流

イベント補助金622万円を
含む3031万円を減額。

特別会計

介護保険特別会計では、歳
入において介護保険料の減少
に伴い、3272万円を減額。
歳出においては、介護予防
サービス給付費など647万
円の増額補正を行うほか、債
務負担行為1件を計上。また、
国民健康保険、後期高齢者医
療の各特別会計で、債務負担
行為の計上など、所要の補正。

企業会計

水道事業会計では水道事業
費用16万円を増額し、下水道
事業会計では、債務負担行為
補正として5件を追加計上。
また、病院事業会計では、
一般会計繰入金として391
7万円、燃料価格の高騰など
に要する経費2685万円、
訪問看護事業の体制変更によ
る経費214万円を増額
し、債務負担行為補正として
43件を追加計上。老人保健施
設事業会計では、一般会計繰
入金として事業収益471万
円、事業費用408万円を増
額し、債務負担行為補正とし
て13件を追加計上。

指定管理者の指定



登米森林公園



東和総合運動公園



米山産地形成促進施設
(道の駅 米山)

(単位:千円)

指定管理施設	指定管理団体	期間	指定管理料(通算)
登米祝祭劇場	公益財団法人登米文化振興財団	5年	436,640
登米公民館	とよまコミュニティ運営協議会	5年	108,044
豊里公民館、豊里多目的研修センター 平岡沼農村文化自然学習館	豊里コミュニティ推進協議会	5年	220,765
米山公民館 米山農村環境改善センター	西野コミュニティ運営協議会	2年	49,313
中津山公民館	中津山コミュニティ運営協議会	5年	100,265
吉田公民館、吉田体育館、 善王寺コミュニティセンター	吉田コミュニティ運営協議会	5年	161,217
石越公民館	石越コミュニティ運営協議会	5年	111,692
津山公民館、津山陶芸館	津山地域振興会	5年	105,653
迫老人福祉センター、登米老人福祉センター、 中田老人福祉センター、石越福祉センター、 米山総合保健福祉センター	社会福祉法人登米市社会福祉協議会	5年	236,850
登米市畜場	株式会社清建	5年	114,135
米山産地形成促進施設、米山西野農村公園	株式会社Y・Y	5年	32,150
豊里地域産物活用施設	豊里地域産物活用施設運営組合	5年	18,120
津山木工加工研修施設	津山木工芸品事業協同組合	3年	0
長沼フットピア公園	長沼ふるさと物産株式会社	5年	89,670
高森パークゴルフ場	株式会社いしこし	3年	107,244
登米森林公園	登米町森林組合	5年	23,320
とよま観光物産センター、春蘭亭、 登米寺池城址公園、登米駒つなぎの広場、 歴史資料館、高倉勝子美術館	株式会社とよま振興公社	5年	226,980
東和物産館、東和活性化施設	株式会社みやぎ東和開発公社	5年	39,215
もくもくランド	津山木工芸品事業協同組合	5年	44,650
東和総合運動公園	錦織地域振興会	5年	63,565
道の駅三滝堂地域活性化施設	株式会社みやぎ東和開発公社	5年	0
長沼ボート場クラブハウス	長沼ふるさと物産株式会社	5年	58,585

電気・ガス・食料品等
価格高騰緊急支援給付金
支給事業

3億4210万円

事業目的

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計の負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に給付金を支給し、生活支援を行うもの

事業概要

支給対象世帯
・住民税非課税世帯
6600世帯

・家計急変世帯 50世帯

支援額 1世帯当たり5万円

【財源】 全額国庫支出金

被災者住宅再建支援金
支給事業

888万円

事業目的

4年3月福島県沖地震により、居住する住宅に著しい被害を受けた世帯に対し、被害程度および再建方法に応じて、被災者住宅再建支援金を支給し、居住する住宅の再建を支援するとともに生活の安定を図るもの

事業概要

支給対象世帯
・複数世帯

全壊 24件
中規模半壊 6件

全壊 4件
大規模半壊 1件

【財源】 全額県支出金

意見募集実施

登米市議会では、各常任委員会において設定された次の3つのテーマで、令和4年11月17～30日に意見募集を行いました。

総務企画常任委員会

・災害に対する地域の備え

教育民生常任委員会

・再編により新設される中学校に望むことは

産業建設常任委員会

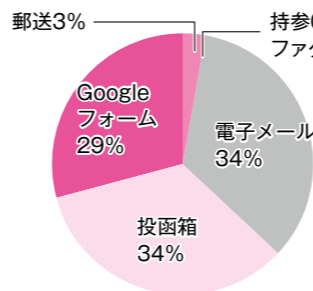
・地産地消推進事業について

いただいた多くの意見は、それぞれの委員会で政策の協議などの参考にさせていただきます。

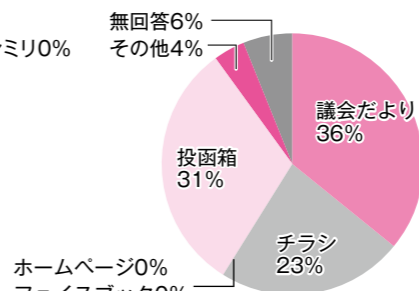
本市に不足している部分や充足しなければならぬ取組へとつなげていけるように、しっかりと活かしていきたいです。

ありがとうございました。

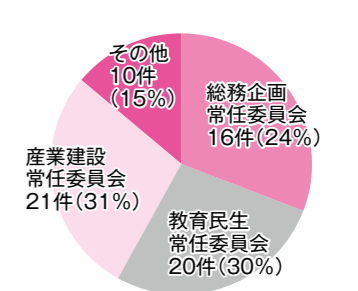
募集結果



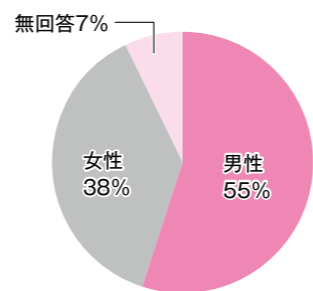
意見の提出方法



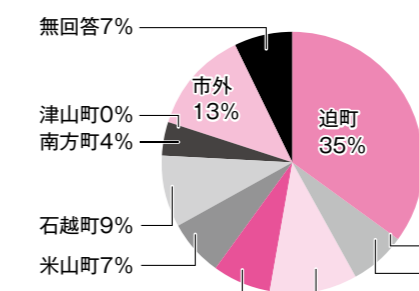
意見募集を何で知ったか



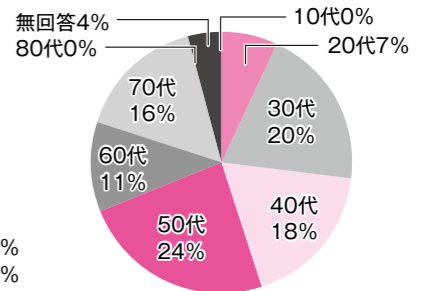
いただいた意見数 (全67件)



回答者の性別



回答者の居住地域



回答者の年代

「市町村の消防連携・協力」
共同運用について



消防指令センター

総務企画常任委員会

高機能消防指令センター

(11月4日調査)

登米、石巻、気仙沼・本吉の3消防本部による高機能消防指令センターの共同運用について、消防の連携・協力を進める必要とされる「消防連携・協力実施計画」、また、事務協議会の発足に伴う規約(案)について調査した。

近年、全国各地で毎年のように大規模な自然災害が発生している。このため、市町村の消防力強化が喫緊の課題となっており、また東日本震災の教訓として、広域的な連携も不可欠となっている。以上のことから、広域的な消防応援体制強化のため、指令の共同運用および応援計画の見直しなどによる消防力の強化を目的として、計画を策定するものであった。

指令の共同運用による相互協力、火災出動、救急出動の応援体制等、課題の整理を行い、情報共有を強化し、より完璧な計画策定を望むものである。

水道料金改定検討状況

(9月21日調査)

持続的な経営と、安全な水を安定的に供給するため、「水道料金及び下水道使用料等あり方検討委員会」および「上下水道事業運営審議会」で検討が進められている料金等の改定について、現在までの検討状況を調査した。

あり方検討委員会および運営審議会では、経営目標数値のうち、営業収支比率および料金回収率の目標達成はできなくなるが、料金改定期間中は経常収支比率を100%以上、また、留保資金残高を10億円以上に保つことが可能であることとあった。

しかし、公共料金や諸物価が軒並み高騰している中で、水道料金の改定案であるが、現状を踏まえ、市民が納得できる「水道使用料金」を今後継続して調査して行くこととする。

行政視察報告

11月9日～11日

新潟県十日町市

「移住・定住促進策の取組」
十日町市は、「選ばれて住み継がれるまち」とおかま「ち」を目指し、多様な移住・定住促進策を積極的に展開している。令和3年度には166名が移住している。

十日町市の取組を一つの参考にし、移住・定住の促進につなげたい。

新潟県三条市

「災害に強いまちづくり」
三条市では、過去に2度、豪雨によって川が氾濫する大規模水害を経験した。過去の災害を教訓とした対策、また、豪雨災害対応ガイドブックの作成や災害対応マニュアルの策定などを行い、災害に強いまちづくりを行っている。

本市でのハザードマップの改訂、自主防災組織への説明やワークショップの開催などを通じて実効性をさらに向上させたい。

新潟県新発田市

「新発田DMOの取組」
新発田市は観光による回遊人口の増加により、経済の波及効果を高めようと、多様な団体との連携を図っている。

平成28年、新発田市観光協会が事務局となり、新発田市観光地域づくり推進協議会を設立させ、DMOの認定を受け、稼げる観光地づくり事業が進められている。本市においても自然資源、農畜産物を活かすDMOとなるよう望むものである。



三条市視察

※DMO:観光地域づくり法人。地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った、観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

行政視察報告

11月9日～11日

愛媛県伊予市
伊予市立図書館（「Y.O.夢みらい館」）

2年4月の開館で、1階が図書館、文化ホール、会議室、スタジアムなど、2階には運動もできる多目的室、料理研修室、工芸室、学習コーナーなどが入る複合施設となっている。

1カ所ですまざまな行事ができ、集客力も多いに見込める素晴らしい施設であると感じた。

愛媛県大洲市
マイナンバーカード交付率向上に向けた取組

大洲市では、交付率が2年11月時点で17・9%、県内16位であった。3年1月～9月を普及促進強化期間と定め、対応窓口の強化、確定申告会場での出張申請受付、「おおよず買物等割引チケット事業」などを実施した。その結果、3年9月に60・7%で県内1位、特別区・市部門において全国6位となった。

本市においても、取組を参考にし、さらに月次目標を設定して取り組まれない。

愛媛県新居浜市

Ttkエンタープライズ（株）
バイオガス発電プラント

発電容量500KW、処理量（最大）35トン/日の規模である。食物残渣などが投入されて発酵槽での発酵、発電から処理水までの工程が理解できた。

臭いについては、脱臭設備を導入するなど努力しているが難しい課題のようである。



登米地方保育所協議会との意見交換会

諸物価高騰に対する支援の継続を

登米地方保育所協議会との意見交換会
(10月12日)

テーマ①諸物価高騰による給食費及び燃油等への支援

9月定期議会にて「私立及び公立保育所等に対する給食材料費原油価格・物価高騰対策事業」として補正予算が可決している。

助成金の算定方法については、実人数が許可定員数を上回ってもその分は支給されないことから、算定方法見直しへの国への要望や市の独自支援について検討が必要と考える。

テーマ②急激に進む少子化の保育施設に及ぼす影響とその対策

本市として認定こども園、保育所、小規模保育事業所を増設してきたことにより、待機児童は0人となった。その一方で、本市の出生数は年ごとに減少傾向にあり、定員割れのところも出てきている。市は、これまでの経過を踏まえ、今後、地方保育所協

会などと相談しながら、これからの方向性を検討し、明示していく必要がある。

保健部門における専門職の配置の見直し

(9月14日)
市民に寄り添った保健事業を効果的に行うことを目的として、専門職の配置の見直しによる体制強化を図ることとしている。見直し（案）では、5ブロック体制となる。体制が変わることから、5年4月からの実施に向けて、準備に励まれたい。

その他の調査項目

・障害者地域活動支援センター統合について
(9月14日)
・犯罪被害者等支援の制度について
(11月4日)

産業建設常任委員会

道の駅実態調査1 「各駅長との意見交換」

道の駅駅長との意見交換を実施
(11月21日)

本市には5か所の道の駅があり、長引くコロナ禍や世界的な原材料価格の高騰の状況下における課題などを把握するため、道の駅駅長との意見交換会と、現地調査を実施することとした。

今回は、1回目の実態調査として、意見交換会を実施した。各駅とも、コロナ禍により入込客数・売上ともに落ち込んでいるが、行動制限の緩和により徐々に客足が戻りつつあるとのことであった。

課題としては施設の老朽化や駐車スペースの不足、会員の高齢化やインボイス対応への不安などが聞かれた。



各駅長との意見交換会



ヤマカノ醸造株式会社視察

企業訪問

(10月24日)

市内企業の現状把握のため、今年度2回目の企業訪問を実施。「ヤマカノ醸造株式会社」および「東京発條株式会社 宮城工場」を訪問した。コロナ禍における経営の現状や課題、雇用状況や人材確保について意見交換を実施した。

いずれも人材確保には苦慮しているということであった。また、東京発條においては工場が市街地と離れていることもあり、市民バス運行ダイヤの見直しや増便などの要望も出された。

行政視察報告

11月9日

新潟県上越市
スマート農業プロジェクト

上越市では農林水産省の「スマート農業技術の実証プロジェクト」に参加し、最先端の農業技術の実証試験を経て、現在「先進的スマート農業タウン推進事業」を創設し普及に取り組んでいる。

スマート農業技術導入の目的は、現場の課題である高齢化や収量・品質確保と生産コスト低減化への対応であり、ほ場の管理システムやV溝乾田直播栽培など、本市における農業の課題解決にもつながる取組として参考になった。



取り組んでいる主なスマート技術

- ①ほ場管理システム
- ②自動操舵トラクター
- ③直進キープ・可変施肥田植え機
- ④水管理システム
- ⑤ドローン利用による農薬・肥料の散布
- ⑥食味・収量センサーコンバインによる品質・収量のデータ化
- ⑦レーザ利用による大区画ほ場の均平化



議会による 事務事業評価に 基づく提言

前回の「とめ市議会だより」第73号では、総務企画常任委員会と教育民生常任委員会の事務事業評価に関して、評価内容を紹介させていただきました。

今回は産業建設常任委員会の事務事業評価等に基づく提言内容と、国への要請活動も含め報告します。

産業建設常任委員会

日本一の地域資源循環型環境 保全農業の実現を目指して

4年度の事務事業評価では、本市の基幹産業である農業・畜産業に関係する事業を中心に評価を実施した。昨今の農業が置かれた現状と事務事業評価の視点から、地域内での資源や資材などの循環を可能な限り実現し、本市が進めてきた資源循環型農業と環境保全型農業を更に発展させるための取組が必要であるとし、次の内容を提言した。

1. 化学肥料・化学農薬への依存度低減とたい肥の利用拡大
 - ・環境保全型農業の更なる推進（有機農業、カバークロープ等）
 - ・環境保全型作物の拡大
 - ・たい肥のペレット化
 - ・食品等の廃棄物の資源化と耕畜連携の推進
 - ・総合的病害虫管理IPM (Integrated-Pest Management) の推進
2. 食品ロス、エネルギーロスの縮減化
 - ・食品が「廃棄」や「処理される部分」の再利用と地域内循環に向けた取組み（食品等の廃棄物の資源化と耕畜連携の推進）
 - ・エネルギーロス縮減化のための取組（地産地消や道路整備などによる輸送エネルギーの低減）
3. 食料における「質の向上」と「量の確保」
 - ・より付加価値を高める取組の推進（市内農地のエリア化（農業使用量）による価格帯の多様化を目指す取組など）
4. ブランド化に向けた方向性の確立
 - ・農産物を市内外に安定して供給できるサプライチェーンの構築と拠点整備
5. 地域資源循環システムの構築
 - ・稲わらの利用促進と流通体制の整備

国への要請活動



指定廃棄物処理に係る環境大臣への要請

（11月8日）
指定廃棄物（汚染稲わら）の処理については、国において「放射性物質汚染対処特措法」により、一時保管分全てを処理し解決を図ることとなっており、「その期間は2年間」という約束であったが、原発事故から11年が過ぎた現在までその約束が果たされないでいる。長期にわたる保管により施設の老朽化や豪雨などによる二次被害も懸念されていることから、早期解決を図るため、環境省を訪れ、大臣に対し直接要請した。

指定廃棄物の早期処理に関する要請事項

- 1 指定廃棄物の処理のプロセスや指定廃棄物長期管理施設の設置について、国が主体的責任を持って住民に説明し、早期に進めること。
- 2 国に引き渡されるまでの間の指定廃棄物の保管については、一時保管者である登米市が行っているが、これに伴う業務量は多大なものとなっている状況である。保管場所の修繕や苦情等への対応などを含め、国が自ら管理等に当たるとともに、説明責任を果たすこと。
- 3 指定廃棄物の放射能濃度が8000 Bq/kg以下に減衰しても、指定を解除することなく、国が責任を持つて最終処分すること。

大臣からは「最低でも個人保管分については早期解消する」と前向きな回答をいただいた。解決に向けて、市とともに引き続き要請活動を展開したい。



視察調査
11月28日

広報広聴委員会

研修レポート



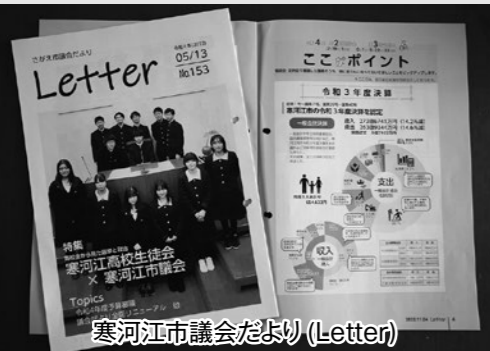
山形県寒河江市 議会広報のリニューアル

広報広聴委員会では議会広報の刷新を目指し様々な検討を重ねており、先進議会の取組を学ぶため、研修を行った。

寒河江市議会では、4年5月に広報誌の充実を図るため、全面リニューアルを実施。「手に取ってもらえ、情報が伝わる議会だより」として、「基本姿勢とし、作ることを目的化しない、読者目線の編集を徹底していた。『読まれる』『伝わる』など、読んで良かったと思われる情報の掲載を心掛けており、市議会への興味関

心を高めてもらう紙面づくりが随所に見られた。

具体的には、余白のバランス、文字数を考慮した全体的にシンプルなデザインとなっていた。読者の視点に立った、「事実」や「伝えたいこと」を明確にした文章作成が行われている。また、市民が議会を自分ごととして捉えられるような工夫もなされていた。いずれも本市における議会広報編集に大いに参考になる考え方があり、取組であった。



寒河江市議会だより (Letter)

広報広聴委員会からのお知らせ

広報広聴委員会では、現在、「より分かりやすい、より市民に親しまれる」広報紙を目指して、とめ市議会だよりのリニューアルに向けて検討を行っております。

11月28日に実施した広報広聴委員会の視察研修も、そのために実施しました。

リニューアルの目的

私たち広報広聴委員会は、議会の内容やその時々々の時事について読者の皆さんにお知らせするため、「とめ市議会だより」を編集、発行しています。

しかし、現在の「とめ市議会だより」は、多くの皆さんに興味を持っていただけない内容や表現になっていないのではないかと考えており、少しでも分かりやすく、そして見やすくしたいという思いです。

その思いから、これまで現在の編集スタイルとルールの中で、変えられるところは少しずつ変化をつけてきました。依然、読者の皆さんと市議会だよりとの間に距離があると感じて

おり、改めて、根本から構成について考え直すことにしたものです。

議会だよりに関するアンケート
広報広聴委員会では、これまで市議会だよりの内容について読者の皆さんからお話を聞く機会がありませんでした。

そのため、読者の皆さんに親しまれる紙面になるようご意見をお聞きする機会として、『議会だより』に関するアンケートを実施したいと考えています。詳細は3月上旬にチラシでお知らせしますので、ご協力をお願いいたします。



問 区長の身分変更について

答 次の任期の中で検討していく



相澤吉悦 議員

4年11月に、迫地区区長会議が開催され、『現在の区長の身分は、地方公務員特別職非常勤職員であるが、見直し案では私人と示され、5年

4月の区長改選後に施行する』案が示された。区長からは、『住民の要望の取りまとめなどは、私人でも可能なのか』などさまざまな質問が出た。

区長の仕事は市民への周知、各種調査の取りまとめなど行政の運営全般を担っている。私としては私人にすれば不都合なことがあるのではと思う。したがって、区長の身分

は、現行どおり地方公務員特別職非常勤職員とすべきでは。

区長の身分の在り方や職務内容などについて引き続き検討していく。

4月の区長改選から私人とすることを撤廃するということか、延期するということか。

次の任期の中でしっかり検討し、市の考えを整理していきたい。

交通安全指導隊および防犯指導隊の身分は、身分変更についてはご理解をいただいている。

登米市にさまざまな方から寄附されたことを、広報などを通じて広く市民に知らせるべきと思うが。

寄附者の思いを尊重しながらより広くお知らせするため、ホームページへの掲載に加えて5年度分から広報紙にも掲載し、情報発信に努めていく。



地域を巡回する区長

問 新図書館に対する市長の思いは

答 交流を生み出す施設を目指す



曾根充敏 議員

ける図書館の在り方は。近年、公立の図書館は、まちづくりの中核施設としても期待されている。

多くの市民が集い、地域や世代を超えた交流を生み出すことが出来る図書館を目指したい。

今回の動きは平成27年構想を踏まえたリスタートなのか。それとも全く新たなものなのか。

教育委員会が図書館構想の見直しに着手しているが、一方で、市長が思い描く新図書館の姿が伝わっていない。

多くの市民が集い、地域や世代を超えた交流を生み出すことが出来る図書館を目指したい。

今回の動きは平成27年構想を踏まえたリスタートなのか。それとも全く新たなものなのか。



立地適正化計画に基づいて建設された、大崎市図書館(愛称:菜菜里ホール)



は、現行どおり地方公務員特別職非常勤職員とすべきでは。

区長の身分の在り方や職務内容などについて引き続き検討していく。

4月の区長改選から私人とすることを撤廃するということか、延期するということか。

次の任期の中でしっかり検討し、市の考えを整理していきたい。

交通安全指導隊および防犯指導隊の身分は、身分変更についてはご理解をいただいている。

登米市にさまざまな方から寄附されたことを、広報などを通じて広く市民に知らせるべきと思うが。

寄附者の思いを尊重しながらより広くお知らせするため、ホームページへの掲載に加えて5年度分から広報紙にも掲載し、情報発信に努めていく。



移動市長室で、度々「図書館がほしい」と強く要望された。27年構想もあるが、もっと大きく発展させた、今望まれる新図書館を造りたい。

アンケート調査までに5年を要しているが、時間がかかったが、一つのモデルになるような図書館を造りたい。

私としては立地適正化計画の誘導地域に、施設の目玉として建設出来たらいいと考えている。

まちづくりの手法となるような施設となると、市民協働の観点や都市建設の要素も絡む。社会教育法の枠組を超えて、地方自治法の範囲でプロジェクトを組むべきではないか。

教育長とは図書館に対する思いが一致している。その流れで詰めた。財源をしっかりと確立させて事業を進めたい。

問 市民の健康と命、社会を守る取組は

答 引き続き感染症対策を進める



佐々木好博 議員

3年間も続く感染予防対策によって、逆に市民の精神や健康が損なわれていないか。本市合併以来、年間死亡者数が1200人を超えるのは東日本大震災という通常でない状況下で平成23年と24年の2回しかない。ここにきて死亡者数が1200人を超える状況は「異常」と考えるべきではないか。

本市においては高齢化率が高いということ。また感染症予防対策は、国の方針により県が実行施策を示し、本市もそれに従って実施している。

現在の状況を危機的な状況と認識すべきであり、このままの状況をこれまで通り続けていくことが本間に市民の生命などを守っていくこととなるのか。高齢者や弱者を守るための感染予防対策が逆に超過死亡者数を増やす状況を招いていないかなどの確認をしなければならぬ。

また、これまでの感染予防対策が子供たちの体力低下や肥満率増加に加え、精神的なストレスを

新型コロナウイルスから自分と家族を守る！
感染予防対策をすることで、コロナに負けない体をつくりましょう

正しい感染予防
□ マスク □ 手洗い □ 3密をさける
＜感染予防の基本を守りましょう！＞

自然免疫を高める
□ 適度な運動
運動は免疫力を高めます。習慣的に「激しすぎない運動」をするようにしましょう。運動は、有酸素運動と筋トレの両方を意識することが大切です。

□ 有酸素運動
1日の平均歩数は8000歩以上（60分は7000歩以上）を目安に歩数が少ない日は歩数アップも1週間で7000歩以上を目標に歩きましょう。

□ 筋トレ
太ももの筋肉を鍛えたいスクワットなど、10回3セット・週3回を目安に自分に合った正しい運動を覚えてもらえ、インストラクターの指導も活用するのもおすすめです。

□ 正しい食事
栄養が足りないと、免疫力が下がります。1日3食バランスのよい食事を心がけ、筋力を落とさないよう「たんぱく質」もしっかりとるようにしましょう。

□ 質の高い睡眠
睡眠不足は、免疫力を下げます。運動は睡眠の質も高めるので、日中は運動をして、夜はぐっすり眠るようにしましょう。

□ 人とのかかわり
人とのかかわりが減ると、ストレスや不安が大きくなり、免疫力が下がります。感染予防対策をとったうえで、外に出たり、人と会ったりすることも大切です。

健康二次被害防止



問 野良猫、地域猫などへの対策は

答 関係機関と市が連携して取組む



首藤忠則 議員

TNR活動、いわゆる「さくらねこ活動」についての受け止め方と対応は。

TNR活動は、ボランティア団体などが、地域住民などに確認の上、猫を捕獲し、不妊去勢手術を行った後、元の場所へ返す地域猫活動であり、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することで、人と動物との共生社会を目指す大きな役割を担っているものと捉えている。また、TNR活動を支援する方策としては、関係ボランティア団体などが行う繁殖防止対策について連携を図るとともに、餌づけなどのマナー

も含め、様々な媒体を通じて周知・啓発を図っていく。

不妊去勢手術への補助金制度を創設する考えはないか。

不妊去勢手術は費用負担も大きいので、県の動向や他自治体などの助成内容について情報収集を行い、市民へ周知するとともに、支援の在り方などについても検討する。



不妊去勢手術済みの猫は、耳先がさくらの花びらの形にカットされ、「さくらねこ」と呼ばれている



招いていることや、マスク常時着用などの悪影響に対する啓発など「健康二次被害」への訴えも行っていくべきではないか。

健康二次被害については本市としても心配している。特に高齢者や子供たちについては医学的、科学的根拠に基づいて市民に周知していく。

※TNR活動…飼い主のいない猫に対し、Trap/捕獲し、Neuter/不妊去勢手術を行い、Return/元の場所に戻すことで繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一限りの命を全うさせ、飼い主のいない猫に関する苦情や、殺処分の減少に寄与する活動。

特集 定期議会 特別議会

常任委員会

一般質問 市民メッセージ

問 農業を絡めた観光施策の推進を

答 本市農業を活かす取組を検討する



熊谷康信 議員

本市の特性を活かし、農業を絡めた観光施策が必要と考える。観光客誘客・プラス農業振興を下支えする施策を推進す

登米DMO創設について

本市には、全国に誇れる農産物、農村環境がある。輸出来についても日本でも有数の輸出量を誇っており、これらをさらに磨きをかけていくことが非常に重要である。

営農支援について

再生産価格に至らない販売価格では農業経営は立ち行かない。経理的



DMO創設で登米市をもっと元気に！

地方誘客・旅行消費拡大

べきと考えるが。

本市には、全国に誇れる農産物、農村環境がある。輸出来についても日本でも有数の輸出量を誇っており、これらをさらに磨きをかけていくことが非常に重要である。

再生産価格に至らない販売価格では農業経営は立ち行かない。経理的



な指導の窓口を市で担うことはできないか。

農家経営という観点からも、栽培技術や経営部分において、やはり農業協同組合が果たす役割は非常に大きいと思っております。事業者支援という

農業者の事務負担軽減について

来年から始まる消費税インボイス制度は、農家の事務的負担や経済的負担が懸念される状況だ。そこで事務負担を少しでも軽減するため、各種手続きの簡略化を推進すべきでは。

県や農業協同組合などの関係機関と連携し、農業者の一層の事務負担軽減が図られるよう努めていく。

体育や総合学習にヨガを取り入れている自治体がある。キッズヨガを通して、自分の心を内観し、自己肯定感を高める効果や、運動が苦手な子ども勝ち負けがなく取組め、心がリラックスするヨガを研究してみる価値はあると思うがどうか。

誰にでもできるヨガはとても良いものと感じるので研究していく。

問 児童生徒の身心の健康について

答 関係部署と連携を図り取組む



遠藤真理子 議員

不登校児童生徒を支援する民間団体との連携は必要と捉えるか。

多様な教育機会を提供している民間団体との連携は必要と認識している。



長野市、外部講師を招いたキッズヨガの様子



栗登一平のポスター

ふるさと応援 寄附金について

条例で定めている事業区分に従い、寄附者の思いが反映する事業に充当できるように検討委員会を選定している。

「栗登一平」の連携から、納税を通して近隣自治体を応援し合える仕組みづくりはどうか。

4市町で連携し、観光振興や、婚活を行っている。納税のPRにも、この連携を活用すべきことだと思ふ。具体的な方法は全体の中で相談しながら進めたいと思ふ。

その他の質問 肥満傾向児への対策と対応について けやき教室について



問 入札で市内業者を優先する考えは

答 市内業者育成に意を尽くしていく



岩瀬正弘 議員

本市では元年5月に発生した談合事件を受け、登米市入札制度等改革検討委員会の設置など、再発防止に取組んできた。

ランダム係数については、最低制限価格に加えて東北地方の自治体では初となる予定価格にも導入して対応してきたが、その成果は。

ランダム係数の導入当初は、入札参加業者の多くが失格となり、結果的に落札額が高くなる例があった。

しかし、入札価格が最低制限価格または予定価



格と同額になる案件は大幅に減少している。

また、積算担当者、入札担当者ともに、開札時まで最低制限価格および予定価格を知り得ないことから、談合の抑制や公正な入札の執行に効果が表れているものと考え

仕事が少ないようになってきているなかで、市外に本社のある業者が市内の業務を受任する意義は。

より競争性を高める必要があることや、本市市民の方の雇用や災害時の協力を得ている業者もある。

市内業者が優先となる入札制度を検討する考えは。

競争性や透明性を確保しつつ、市内業者の育成と地域経済の活性化につながる制度設計のあり方について、しっかりと意を尽くしていきたい。

問 豪雨災害と防災対策について伺う

答 ハザードマップを作成する



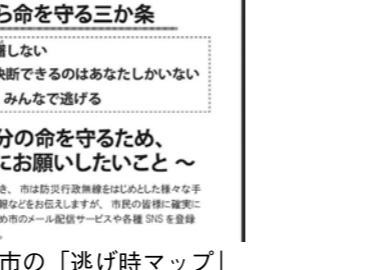
鈴木 実 議員

総務企画常任委員会で行った行政視察を行った。学

ぶべき点が多く、防災対策に反映してほしい。

新潟県三条市における豪雨災害対応ガイドブックは、参考にすべき点も多い。本市でも、引き続き対象地域のハザードマップを更新、作成していく。また、河川の流域全体で氾濫を防ぎ、被害を減少させる「流域治水」の推進が重要。国や

県、流域全体関係者の協議、検討が必要と考える。10月に行われた原子力防災訓練から見た課題は何か。避難計画の変更はあるか。



三条市の「逃げ時マップ」



行い避難地域時検査等場所のレイアウトや動線が設置・運営を行う避難所受付ステーションでの案内要領に主眼を置いた。課題は、避難地域時検査等場所内での通過証や安定ヨウ素剤配布時に車両が滞ったこと。レイアウトや動線の再考について、県との協議を進める。

国民健康保険制度の

傷病手当てについて、市民への周知と自営業者や事業主を支給対象外としていることに対する市の考えは。

周知は、毎戸配布と市のホームページなどで行っている。自営業者や事業者は、就労形態が多様であり、客観的な支給基準の定めが困難なことから、本市独自の支給は難しい。

特集 定期議会 特別議会

常任委員会

一般質問 市民メッセージ

登録業種	土木工事一式
登録等級	A・B等級
事業所の所在地に関する条件	登米市内に本社(本店)を有する業者であること
施工実績に関する条件	なし
配置技術者	建設業法に規定する技術者の配置ができること。また、専任で技術者を配置する場合は、開札日の前日以前に3ヶ月以上入札参加と直接的な雇用関係があること。

入札参加資格

※ランダム係数…発注者によっては適正な競争環境の確保や適正価格による受注を図るために、落札決定の基準となる最低制限価格に、無作為の係数を用いて算出した額(変動後最低制限価格)を使用する場合があります。

問 失職事由の特例を定めた理由は

答 真にやむを得ない場合を想定



須藤幸喜 議員

る手続き及び効果に関する条例「第5条 失職事由の特例」を定めた理由を伺う。

問 交通事故を起こした職員が、「禁錮1年4か月、執行猶予3年」の判決を受け、不幸にも失職した。
本市職員の分限に関する

答 地公法第28条第4項及び第16条第1号により、禁錮以上の刑が確定した地方公務員は、執行猶予の有無にかかわらず失職となるが、同条第4項においては、「条例に特別の定めがある場合を除くほか、その職を失う」



と規定されており、本市職員の分限に関する条例及び効果に関する条例において、失職事由の特例が規定されている。
対象となる職員本人が十分に注意しても避け難い偶発的な場合や、客観的に同情の余地がある場合など、真にやむを得ないと判断できる場合を想定して規定したものであると思料される。

問 公務の円滑な運営を維持するためには、人材の確保と過度に萎縮せずに業務を執行する環境を整えるべきと思うが。
答 今後は、職員が過度に萎縮せず、伸び伸びと業務を遂行できる環境づくりに配慮しつつ、規律の確保や、倫理感の高揚を図りながら、公務の円滑な運営を確保するための職場づくりに努める。



交通事故は被害者も加害者も不幸にする

問 生活保護制度の相談窓口の周知を

答 相談しやすい体制づくりに努める



工藤淳子 議員



兵糧山でそり遊びする子どもたち



問 市内で死体遺棄事件が発生した。生活保護制度は、生活に困窮している人に、生活保護法のもと国民の権利である文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長する事を目的としている。こうした痛ましい事件が起きないよう、申請をしやすい工夫や相談しやすい窓口の周知が必要ではないか。
答 相談しやすい窓口の周知については、相談窓口となる登米自立支援センター「そ：えーる登米」を設置している。更にチラシを毎戸に配布して周知を行うなど、相談しやすい体制づくりに努める。

併せて行政区长、民生委員・児童委員や社会福祉協議会、地域包括支援センターなどとの関係機関とも連携していく。

少子化が進む保育事業をどう進めるのか

問 10月12日に「登米地方保育所協議会」と教育民生常任委員会との意見交換会が開催され、その中で今後の保育施設の運営に対する不安の声が多

答 定員の弾力化による入所児童数の調整や公立保育所の定員調整、国の制度を活用した保育士対策や処遇改善などの支援を行う。小規模保育事業所のみならず、保育施設全体の取組として進めていく。

問 サニタリーボックスの設置を

答 施設の実情に応じて取組む



熊谷和弘 議員

問 現在、メディアなどにおいて、公共の男性用トイレにサニタリーボックスを設置する自治体の取組が紹介されている。設置の理由は、前立腺

がんや膀胱がんの手術後に頻尿や尿漏れの症状が起こりやすくなり、尿漏れパットを着用する方が多く、使用済みのパッドを廃棄するためのサニタリーボックスが求められているからである。
答 本市においても設置すべきと考えるが、本市として、全ての男性用個室トイレへの設置が理想と考えている



が、スペースが狭く設置が困難な場合もあるので、施設の実情に応じて取組んでいく。

市制施行20周年記念事業について

問 本市におけるキャラクターの現状は、観光PRキャラクター「はつとん」、環境キャラクター「トメル君とオトメちゃん」、協働キャラクター「とめ丸」などとなっている。今後もしっかり活用すべきと考える。
その上で、市制施行20周年記念事業で、本市の新キャラクターデザイン

の一般公募を行い活用することで、本市の知名度の向上、イメージアップにつながる、経済効果にも貢献すると考えるが。
答 今後も「はつとん」を活用し、イメージアップにつなげていく。

問 有機食材を学校給食に

答 目標として取組むことは必要



永島順子 議員



玄米ごはん



有機農園の疎植、開帳型の稲



問 発達障害、アレルギー、落ち着きのない子どもが増加している要因の一つとして、食などの環境要因の影響が明らかになってきている。全国に広がるオーガニック給食の流れの中で、有機米・有機食材を使った学校給食を目指す考えはあるか。
答 有機食材の学校給食への使用は、数量の確保や調達コストの面で難しい状況にあるが、目標として少しずつ取組むことは必要である。

問 国の「みどりの食料システム戦略」では有機農業面積を2050年までに25%にする目標を掲

問 本市には人と環境に優しい農業のポテンシャルがある。有機について、本市農業の一つの軸として取組んでいきたい。
問 世界的に権威ある賞

をダブル受賞した呉地正行氏の功績を称え、本市の環境について伺い、取組を進めてはどうか。
答 環境市民会議が主催するシンポジウムで講演をいただくなど、その活動を広く周知し、生物多様性の保全を図りたい。
その他の質問
・行政区長の身分見直し
の検討経緯は



ボックスが設置されている男性用トイレ (大和町役場)

特集
定期議会
特別議会
常任委員会

一般質問
市民メッセージ

問 総合支所で全ての手続きを進める

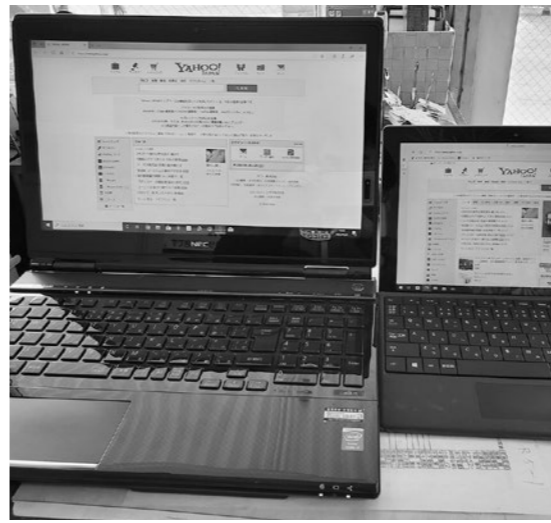


日下 俊 議員

答 デジタル化の推進を進める

問 本市政のデジタル化を進め、ペーパーレスを推進すべきではないか。

答 5年度からDX推進計画を策定し、デジタル



パソコン、タブレットの早期導入を

化をしていきたい。

問 議会側だけがタブレットを活用し、執行部はなぜ紙媒体なのか伺う。

答 資料の確認方法や、運用面において検証が必要で議会以外での利活用もあり導入を見送った。

問 新しくタブレットなどを購入することではないかと利用しているノートパソコンを利用できないかという考えだが。

答 さまざまな業務に対し、どのようなデジタル化が最適なのか専門的に判断していただきたい。

問 資料の見せ方や説明の仕方など、議会側との協議調整が難しいと思う。

答 資料の見せ方や説明の仕方など、議会側との協議調整が難しいと思う。



問 定期議会に使用する執行部の紙枚数はどの位か把握しているか伺う。

答 約5千3百ページを年間で使用し、26万7千枚の用紙を印刷物で使っている状況である。

問 執行部のデジタル化に際し、外部登用し進めるという事だが議会側は自前で行ってきたが。

答 さまざまな業務に対し、どのようなデジタル化が最適なのか専門的に判断していただきたい。

問 各総合支所において本庁機能のある他庁舎とデジタル化によって繋ぎ1カ所で用事が済むようにできないか伺う。

答 支所において全てが出来ればいいと思うし、ZOOMやLINEなど活用し、更なる利便性を高めていきたいと思う。

議会の動き

10月 3日(月)	9月定期議会 (9月8日)	11月 1日(火)	東北市議会議長会理事會 (仙台市)	12月 1日(木)	広報広聴委員会 12月定期議会 (12月15日)
4日(火)	政策企画調整會議 広報広聴委員会 議会改革推進會議 ICT推進検討會	4日(金)	広報広聴委員会 政策企画調整會議 総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会 広報広聴委員会	2日(金)	広報広聴委員会 12月定期議会
11日(水)	教育民生常任委員会 議会運営委員会 産業建設常任委員会 議会改革推進會議	7日(水)	総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会	7日(水)	総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
12日(木)	教育民生常任委員会 議会運営委員会 産業建設常任委員会 議会改革推進會議	8日(火)	北海道江別市議会が行政視察で来庁	9日(金)	総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
14日(金)	教育民生常任委員会 議会運営委員会 産業建設常任委員会 議会改革推進會議	9日(水)	環境省 総務企画常任委員会 行政視察 (11日)	12日(火)	総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
17日(月)	産業建設常任委員会 議会改革推進會議	10日(木)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)	13日(火)	総務企画常任委員会 教育民生常任委員会 産業建設常任委員会 議会運営委員会
18日(火)	議会改革推進會議	11日(金)	愛媛県伊予市、大洲市、Tetkエンタープライズ(株) 産業建設常任委員会 行政視察	14日(水)	広報広聴委員会 議会改革推進會議
20日(木)	総務企画常任委員会 宮城県市議会議長會 秋季定期總會(富谷市) 産業建設常任委員会	12日(火)	環境省 総務企画常任委員会 行政視察 (11日)	16日(金)	広報広聴委員会 議会改革推進會議
24日(月)	総務企画常任委員会 宮城県市議会議長會 秋季定期總會(富谷市) 産業建設常任委員会	13日(火)	環境省 総務企画常任委員会 行政視察 (11日)	20日(火)	産業建設常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会 行政視察 (多賀城市)
25日(火)	岩手・宮城県際市町議会議長會總會(岩手県平泉町) 視察で来庁	14日(水)	環境省 総務企画常任委員会 行政視察 (11日)	21日(水)	教育民生常任委員会 議会運営委員会 行政視察
26日(水)	角田市議会が行政視察で来庁	16日(金)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)	22日(木)	産業建設常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会 行政視察
28日(金)	角田市議会が行政視察で来庁	17日(土)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)	26日(火)	議会改革推進會議 広報広聴委員会
31日(月)	産業建設常任委員会	18日(日)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		19日(月)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		20日(火)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		21日(水)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		22日(木)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		23日(金)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		24日(土)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		25日(日)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		26日(月)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		27日(火)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		28日(水)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		29日(木)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		30日(金)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		
		31日(土)	新潟県十日町市、新発田市、三条市 教育民生常任委員会 行政視察 (11日)		

市民メッセージ

あなたの声

わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

いい移住先登米市をつくる



はたけやま としひろ 畠山 敏博さん (東和)

ふるさとに戻って二十五年、細々とでも趣味仲間との交流を楽しみにする歳になってしまいました。話題は小学校の統廃合や空き家の増加など、人口減少であと何年もしないうちに来る限界集落のことが多くなりました。多くの地方自治体が同じ悩みかと思えます。

テレビでよく「いい移住」の番組をうらやましく見ます。仕事を用意する地方企業、子育てがしやすい環境などのPRで若い人が増えている島根県の山村の自治体もあると聞きます。

都会に出た若者、第二の人生を求めめるシニア層をインターンシップで呼び戻せる地元企業の魅力増強策や、子育てや老後にもやさしい環境づくりで「穏やかな自然と、若くても老いても住み易い、いい移住先・登米」をかかげて、もっともっとアピールしなければと思います。

横断歩道の必要性

私はよく、学校に登校する時や友人の家に遊びに行く際に自転車を使用しているのですが、運転している、横断歩道が少ないと感じます。例えば、私の住んでいる町の支所へ向かう途中の道にT字路があるので、反対側へ渡れる横断歩道がなく、少し先の横断歩道を渡ってからT字路の所まで戻らなければならぬため、大変です。疲れします。ほかに、以前T字路付近を反対側に渡ろうとして道路を横断している人を見かけて、危ないと感じました。ここ以外にも、町内に横断歩道が必要だと感じた場所が何カ所あります。歩行者や自転車を使う人、町内に住む人達の移動や安全を考えて、横断歩道の設置を前向きに検討してほしいです。

土台創りに期待



あべ しょうし 阿部 昭志さん (南方)

まだまだ寒い時期ではありませんが、春の足音が聞こえて来る頃になると体を動かしたくなって来ますね。ここ数年は新型コロナウイルスによるさまざまな規制が続く中、仙台育英高校によって東北勢初の白河の関越えを成し遂げたり、プロ野球では楽天イーグルスが優勝する勢があったり(失速したのは残念でしたが)、また、サッカーワールドカップも日本中が沸きに沸きスポーツの力から活力を貰った令和4年だった気がします。この活躍した高校生やプロのアスリートの方々も幼少期から個人を伸ばすことが出来る環境が有ったからこそその結果であると私は感じます。

これからの登米市に求めることは、将来を担う人達の為に尽力を注いで頂き、誰もが「すてきな町」と言える町創りを期待します。



わたなべ けんしん 渡辺 健心さん (石越)



宝江小学校5年生・6年生の皆さん

議会で市民歌斉唱 宝江小学校5・6年生の皆さん

登米市議会では、その年最初の議会で市民歌を斉唱しています。令和5年は、宝江小学校5年生、6年生47名の皆さんに合唱していただき、それを静聴しました。

市民歌斉唱への取組について、6年生担任の佐藤日向先生と、児童代表の佐藤桃花さんにお話しいただきました。

佐藤日向先生 練習を始めてから、登米市のすばらしさや自然の豊かさ、人々の温かさなど、登米市の魅力がいっぱい詰まった歌詞なんだと

わかり、私たちは登米市のよさを表現することができるよう練習を重ねてきました。

今日は、登米市民としての自覚を一人一人持って、これからも登米市が豊かに発展していくように願いを込めながら歌います。

佐藤桃花さん 私は最初、市民歌の歌詞の意味などは全くわかりませんでした。今回歌うことになって、歌詞の意味などはすっかり分かったと思います。ありがとうございました。

総務大臣表彰

長年にわたり地方自治の発展に努めた功績により、総務大臣から感謝状が贈られました。

また、議員会の八木しみ子会長から、記念品が贈られました。

伊藤 栄議員



(写真右から、関孝議長、伊藤栄議員、八木しみ子議員会会長)

あとがき

一月は「行く」、二月は「逃げる」、三月は「去る」とか。ついこの間、新年を迎えたと思ったら、早いもので二月も末となり、各地から梅ならぬ桜の花だよりが届いています。市民の皆様へは、風流な花だよりとは異なり、ちよつとお堅い本年最初の市議会だよりをお届けいたします。

私たち広報広聴委員会の委員の任期は、本年五月までです。現在「よりわかりやすい広報紙」を目指して、現状分析や委

議会からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今後、本会議並びに各種委員会等の傍聴の自粛をお願いする場合があります。

2月定期議会開催中

本会議はインターネット中継でもご覧になれます。

なお、ご不明な点等がございましたら議会事務局までお問合せください。

議会中継がスマホで見られます。



※スマートフォンでの視聴はパケット通信料定額制の加入契約をしていない場合、通信料が高額になる場合がありますので注意してください。

広報広聴委員会

委員長	佐々木好博
副委員長	伊藤善博
委員	熊谷康信
委員	浅田琢哉
委員	遠藤真理子
委員	鈴木実
委員	永島順子
委員	首藤忠則
委員	曾根充敏

員間討議、先進市議会の視察などを行い、次期委員の編集作業に資するよう、引継ぎ事項のとりまとめに奮闘中です。
(首藤忠則)